

2. 天塩川上流流域治水プロジェクトの充実化

- ※本年度末に公表予定の更新版プロジェクトとなります。
- ※公表までに細部の表現方法等、修正が有る場合があります。

天塩川（上流）水系流域治水プロジェクト【位置図】

～流路延長200kmを超える長大な天塩川の郷土を洪水被害から守る治水対策を推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、天塩川水系においても、北海道の生産力の中核を担う上川圏域の田んぼの貯留機能を活用した流出抑制対策やハザードマップの利用促進（まるごとまちごとHM、3DHM、HM空白地の対応）等の事前防災対策を進める必要がある。国管理区間においては、天塩川流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和56年8月洪水と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。

■洪水をできるだけ防ぐ・減らすための対策

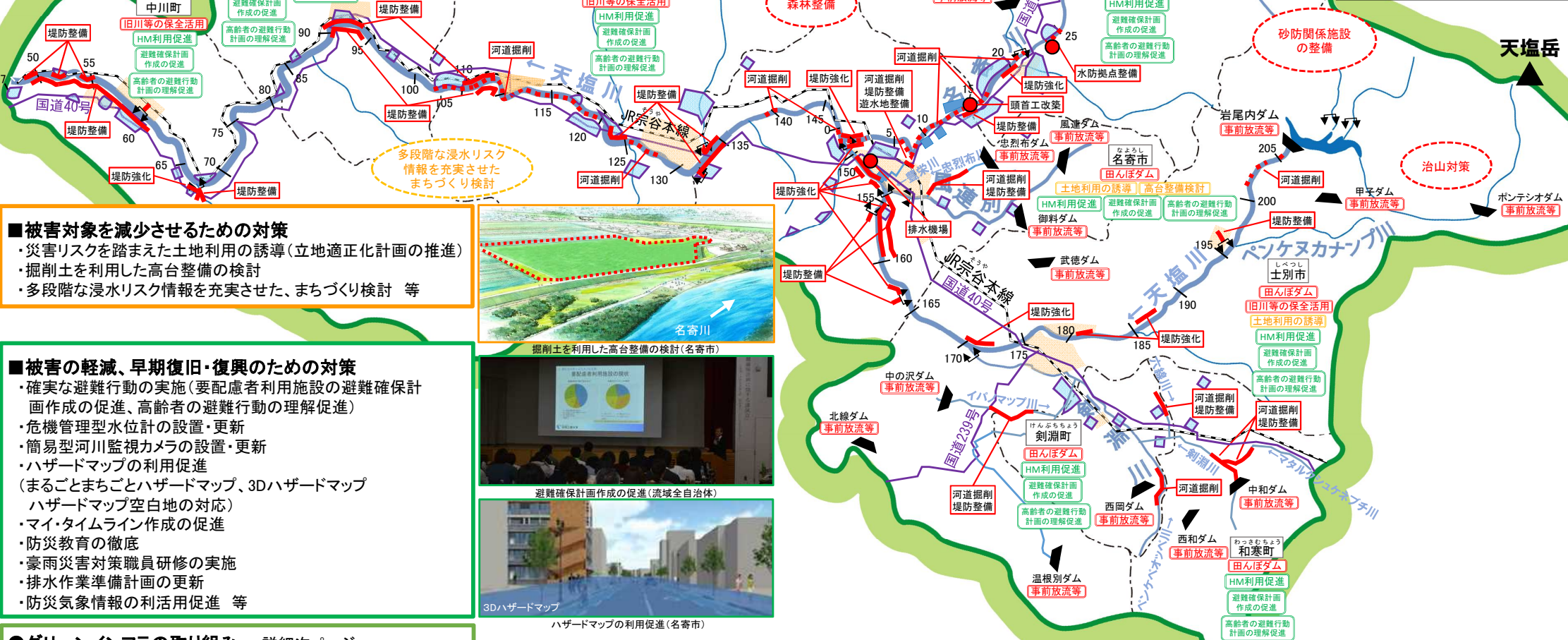
- ・河道掘削、堤防整備、頭首工改築、遊水地整備
- ・砂防関係施設の整備
- ・治山対策
- ・森林整備
- ・利水ダム等14ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：国、北海道、市町村、電力会社、土地改良区など）
- ・流域の雨水貯留機能の向上（田んぼダム、旧川等の保全活用、自然地の保全、農地の整備）等



田んぼの雨水貯留機能を活用した洪水氾濫対策（旭川開発開発建設部、上川総合振興局、和寒町等）
天塩川上流の市街地を守る河道掘削（旭川開発開発建設部、上川総合振興局）

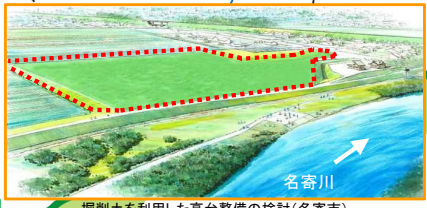
凡例

- 浸水範囲(S56.8洪水実績)
- 市街地
- 大臣管理区間
- 堤防整備・堤防強化
- 河道掘削
- 頭首工改築・水防拠点・排水機場
- 市町村界
- 流域界



■被害対象を減少させるための対策

- ・災害リスクを踏まえた土地利用の誘導（立地適正化計画の推進）
- ・掘削土を利用した高台整備の検討
- ・多段階な浸水リスク情報を充実させた、まちづくり検討 等



掘削土を利用した高台整備の検討(名寄市)

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・確実な避難行動の実施（要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進、高齢者の避難行動の理解促進）
- ・危機管理型水位計の設置・更新
- ・簡易型河川監視カメラの設置・更新
- ・ハザードマップの利用促進（まるごとまちごとハザードマップ、3Dハザードマップ、ハザードマップ空白地の対応）
- ・マイ・タイムライン作成の促進
- ・防災教育の徹底
- ・豪雨災害対策職員研修の実施
- ・排水作業準備計画の更新
- ・防災気象情報の利活用促進 等



避難確保計画作成の促進（流域全自治体）



3Dハザードマップ
ハザードマップの利用促進（名寄市）

●グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

天塩川（上流）水系流域治水プロジェクト【ロードマップ・効果】

～流路延長200kmを超える長大な天塩川の郷土を洪水被害から守る治水対策を推進～

- 天塩川（上流）では、天塩川上の特徴である田んぼダムによる雨水貯留機能の効果を踏まえ、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、道、市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】名寄市街地等での重大災害の発生を未然に防ぐため、水位低下を目的とした河道掘削、堤防整備等を主に実施するとともに、農地の整備と田んぼダムの連携による流出抑制対策、掘削土を利用した高台整備の検討及びハザードマップの利用促進（まるごとまちごとHM、HM空白地の対応）等を実施。
- 【中期】点在市街地の洪水氾濫を未然に防ぐための河道掘削及び堤防整備の継続実施、さらに内水被害軽減のための排水機場改築等を実施するとともにハザードマップの利用促進（3DHM）等を実施予定。
- 【中長期】点在市街地の洪水氾濫を未然に防ぐため、河道掘削及び堰改築、堤防整備等を実施し、被害の軽減、早期復旧・復興のための対策を引き続き実施し、流域全体の安全度向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	名寄市街地等を守る河道掘削、堤防整備等	旭川開発建設部 上川総合振興局	天塩川中流部、名寄川下流部		
	著しく治水安全度の低い点在市街地を洪水被害から守る河道掘削、堤防整備等	旭川開発建設部 上川総合振興局	天塩川中流部		
	点在市街地を洪水被害から守る河道掘削及び堰改築、堤防整備等	旭川開発建設部 上川総合振興局	天塩川下流・上流部、名寄川中流部		
	市街地を土石流から守る土砂災害対策	上川総合振興局	砂防施設の整備		
	山地災害から流域を守る治山対策	上川北部森林管理署 上川総合振興局	治山施設等の整備		
	森林の水涵養機能の維持・向上のための森林整備	上川北部森林管理署 旭川開発建設部 森林整備センター 流域全自治体等	植栽・間伐などの森林整備を実施		
	河川への流出を抑制する雨水貯留機能の向上	旭川開発建設部 上川総合振興局 和寒町、音威子府村等	田んぼダムの広域（関係機関） 田んぼダムの拡大（流域全自治体） 農地の整備と田んぼダムの連携 旧川等の保全活用（土別市、下川町、美深町、音威子府村、中川町）		
被害対象を減少させるための対策	災害リスクを踏まえた土地利用の誘導（立地適正化計画の推進）	土別市等	計画策定時、更新時の見直しを実施		
	掘削土を利用した高台整備の検討	名寄市	有効な対策の検討（名寄市）		
	多段階な浸水リスク情報を充実させた、まちづくり検討	旭川開発建設部 流域全自治体	多段階な浸水リスクの提供（旭川開発建設部） 情報の有効活用（流域全自治体） まちづくり検討（流域全自治体）		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	確実な避難行動の実施	旭川地方気象台 旭川開発建設部 流域全自治体	避難確保計画作成の促進（流域全自治体） 防災気象情報の利活用促進（旭川地方気象台） 高齢者の避難行動計画の理解促進（流域全自治体）		
	ハザードマップの利用促進	流域全自治体	まるごとまちごとハザードマップの整備（土別市、名寄市、和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村） 3DHazardマップの作成（名寄市） ハザードマップ空白地の対応（流域全自治体）		
	氾濫水を早期に排水するための対策	流域全自治体	排水作業準備計画更新（流域全自治体）		
グリーンインフラの取組	レキ河原再生	旭川開発建設部 流域全自治体	レキ河原再生		
	魚類の遡上や産卵環境の保全再生等	流域全自治体	魚類の遡上や産卵環境の保全再生等		
	名寄地区かわまちづくり	流域全自治体	名寄地区かわまちづくり		
	小中学校などにおける河川環境学習	流域全自治体	小中学校などにおける河川環境学習		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

【事業費】

- 事業規模（※天塩川水系全体）
河川対策（約481億円）
対策内容 堤防整備、河道掘削等
砂防対策（約10億円）
対策内容 砂防関係施設の整備
- ※1 国・北海道の河川整備計画の残事業費を記載
- ※2 北海道による砂防事業の残事業費を記載

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

天塩川（上流）水系流域治水プロジェクト 【位置図】

～～流路延長200kmを超える長大な天塩川の郷土を洪水被害から守る治水対策を推進～～

- 天塩川には、その名前の由来となった「テッシ」（梁のような岩）が多く、水際にはヤナギ類を中心とした河畔林が広がっており、本支川にはサケ・サクラマスが遡上し、広く自然産卵が行われている。
- 天塩川上流域には、多くの旧川が形成されており、内水の貯留、魚類・鳥類等の生息場、親水空間など、様々な機能を有していることから、生物の生息生育環境の拠点となる旧川や樹林環境を保全・再生する。また、魚がすみやすい川を再生するため、今後10年間で上流部における魚道整備による魚類の遡上・降下環境の改善をするなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進します。

●グリーンインフラの取組み 『魚がすみやすい川を再生するため魚類の遡上・降下環境の改善を推進』



- ### ■グリーンインフラメニュー
- 自然環境の保全・復元などの自然再生
 - ・レキ河原再生、連続性の回復、旧川の復元の検討
 - 治水対策における多自然川づくり
 - ・魚類の遡上や産卵環境の保全・再生
 - 地域経済のための活性化やにぎわい創出かわまちづくり
 - ・かわまちづくり
 - 自然環境が有する多様な機能活用の取組み
 - ・小中学校などにおける河川環境学習

【全域に係る取組み】

- ・魅力的な水辺空間のPRや水辺利活用を促進し、地域振興を図る(かわたびほっかいどう)
- ・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援
- ・歴史的・文化的施設や公園等を有機的に結び、美しい河川景観、情緒豊かな水辺に親しめるネットワークを活用した取組み



旧川の保全活用
(士別市、下川町、美深町、音威子府村、中川町)



魚類の遡上や産卵環境の保全・再生
(中川町、下川町)



名寄川地区かわまちづくり(名寄市、下川町)

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

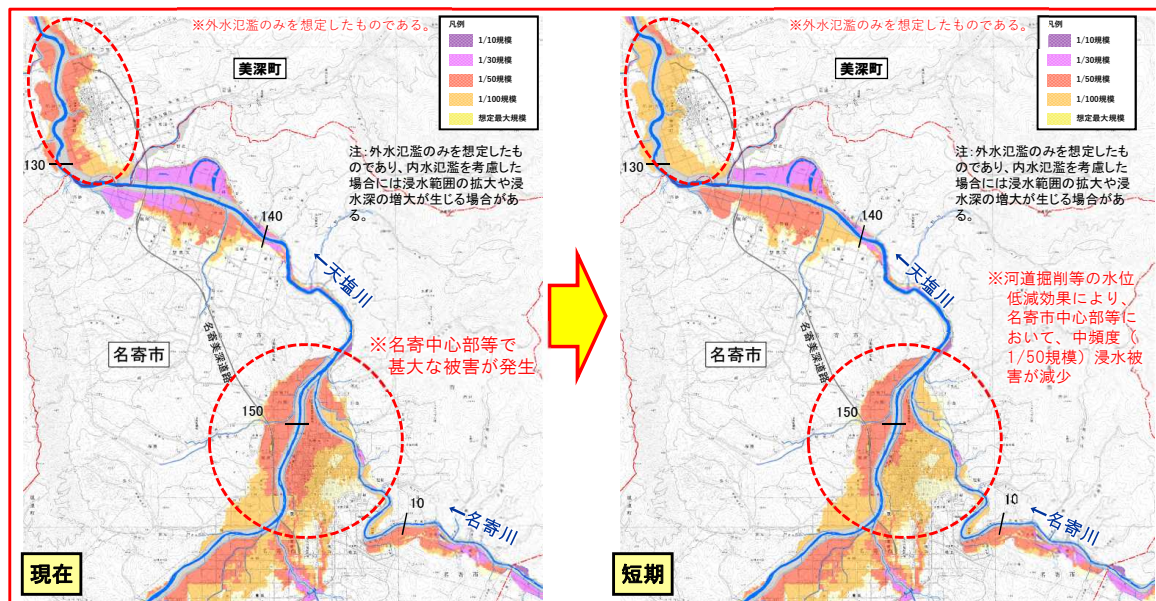
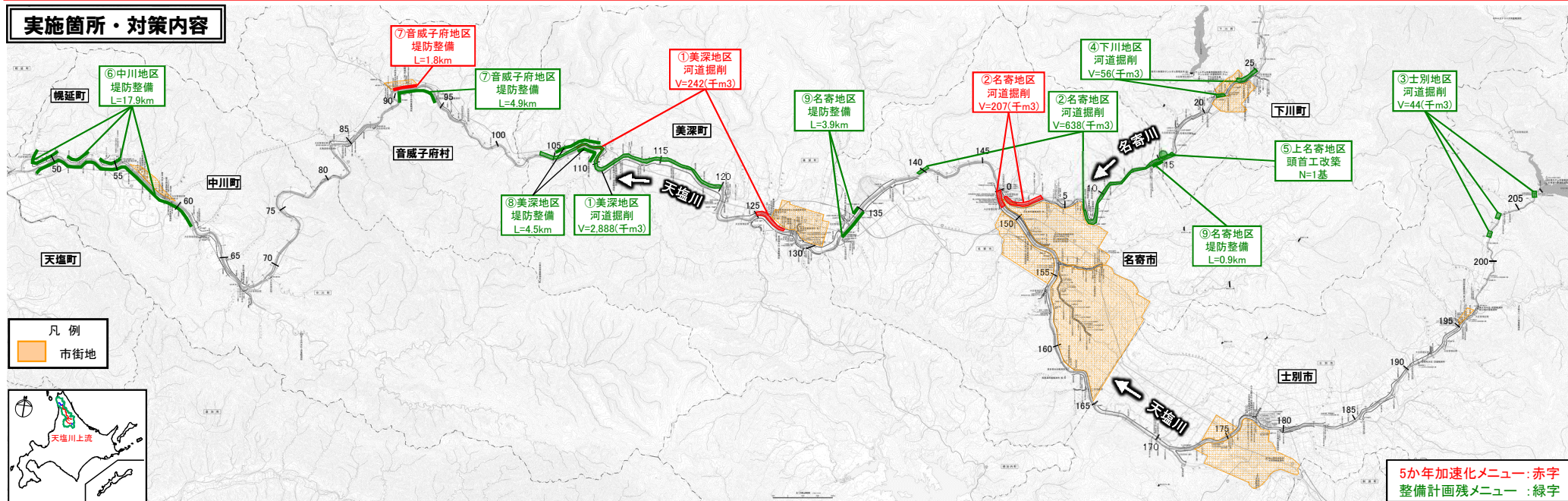
天塩川（上流）水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～流路延長200kmを超える長大な天塩川の郷土を洪水被害から守る治水対策を推進～

上流域で最も資産が集中している天塩川中流部、名寄川下流部（名寄地区）の河道掘削のR7完了にともない、名寄中心市街地では、S56年洪水規模の洪水をHWL以下で流下させることができ、浸水被害解消が可能。

短期整備（5か年加速化対策）効果：河川整備率 約65%→約72%

実施箇所・対策内容



【短期整備完了時の進捗】
 ①美深地区 河道掘削 15%
 ②名寄地区 河道掘削 25%
 ⑦音威子府地区 堤防整備 30%

区分	対策内容	区間	R3		
			【5か年加速化対策】 短期（R3～R7年度） 1/45～1/64	中期（R8～R12年度） 1/64～1/64	長期（R13～R18年度） 1/64～1/64
河道掘削 35%→100%		①美深地区	15%	40%	100%
		②名寄地区	25%		100%
		③土別地区			100%
氾濫をできるだけ防ぐ・深からするための対策	頭首工改築等 0%→100%	④下川地区			100%
		⑤上名寄地区 掘削工			100%
		⑥中川地区		35%	100%
堤防整備 45%→100%		⑦音威子府地区	30%	100%	100%
		⑧美深地区		40%	100%
		⑨名寄地区			100%

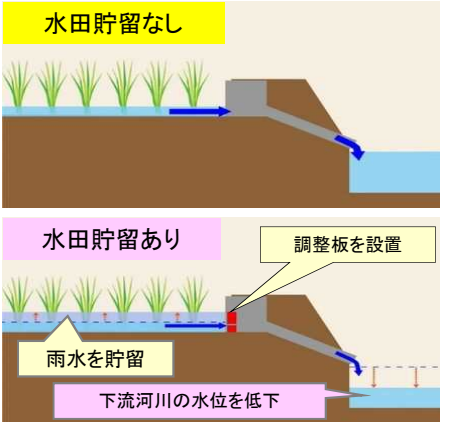
※短期における代表的な事業実施箇所（名寄地区：名寄川）の治水安全度を記載している。
 ※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

天塩川（上流）水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～流路延長200kmを超える長大な天塩川の郷土を洪水被害から守る治水対策を推進～


<p>戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込）</p>  <p>集計中 (概ね5か年後)</p>	<p>農地・農業用施設の活用</p>  <p>集計中 (令和3年度末時点)</p>	<p>流出抑制対策の実施</p>  <p>集計中 (令和2年度実施分)</p>	<p>山地の保水機能向上および土砂・泥石流災害対策</p>  <p>治山対策等の実施箇所 集計中 (令和3年度実施分) 砂防関連施設の整備箇所 集計中 (令和3年度実施分)</p>	<p>立地適正化計画における防災指針の作成</p>  <p>集計中 (令和3年12月末時点)</p>	<p>避難のためのハザード情報の整備</p>  <p>洪水浸水想定区域 集計中 (令和3年12月末時点) 内水浸水想定区域 集計中 (令和3年11月末時点)</p>	<p>高齢者等避難の実効性の確保</p>  <p>避難確保洪水計画（土砂） 集計中 (令和3年9月末時点) 個別避難計画 集計中 (令和4年1月1日時点)</p>
---	---	---	---	--	---	--

被害をできるだけ防ぐ・減らすための対策



水田貯留なし
水田貯留あり
調整板を設置
雨水を貯留
下流河川の水位を低下

田んぼの雨水貯留機能を活用した流出抑制対策を実施



旧川等の保全活用を検討

被害対象を減少させるための対策



名寄市防災マップ（洪水・土砂災害ハザードマップ）
公共施設等2階以上避難可能避難施設
避難可能避難施設

市の公共施設等総合管理計画と立地適正化計画と連動して、公共施設の効果的な再配置等について検討
※立地適正化計画の誘導区域（浸水想定等を配慮）に再配置できるような検討を進めている

公共施設等の再配置における水害リスクの考慮（名寄市）



イメージ図
名寄川

掘削土を利用した高台整備や立地適正化計画の検討（名寄川の例）

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策



名寄市広域防災訓練（イメージ図）

08:00～09:20 リモート会議（ヤマト運輸主催）
09:00 避難参加町村1次集会所（仮場等）
10:00 避難参加町村2次集会所（仮場等）
11:45 指定避難所（ふづれん地域交流センター）
12:00 交流センター前

天塩川流域の外水氾濫に伴い「8つの市町村で水害が発生し、多くの住民が避難した」との想定で広域防災訓練を実施

- ・上川北部8市町村の首長、関係機関によるリモート会議開催
- ・8市町村同時進行で官民連携し物資輸送訓練を実施
- ・さらに同時進行で風連地区3町内会による避難訓練を実施
- ・訓練実施後にマイ・タイムラインの作成要領の講習会を実施

広域防災訓練の実施（R3.7.21）



自治体による住民への流域治水の説明（下川町）